

2013年2月21日(木)

ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議

室

- ◆委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟(議長) 金子純代
事務：熊谷一樹 村井梨恵 室橋紅里子 書記：中山遼平
- ◆出席者(順不同)：児玉萬平 田代和史 古川龍文 山田寛 浅野英彦
- ◆開会 19:00

◆今後の委員会運営について

- ・ キールボートシリーズの開催に関して、責任者の負担が大きくなるように、レースごとにサポート担当者を決めてはどうか。(中澤)
- ・ 海外招待レースに関して、バルクヘッドマガジンや JSAF 外洋系 web の「OnBreeze」などを利用してアピールする。(中澤)
- ・ キールボートパークの設立に向けて、運用面及び資金面の協力を各方面に仰ぐ。(中澤)
- ・ 大学マッチの盛り上がりを来年以降にどうつなげるか検討する。
- ・ 大学生以下のユース世代に向けて、マッチレースをアピールする。例えば、高校のヨット部監督宛てにマッチレースイベントの案内状を送り、学生の参加を促すことなど。(田代)
- ・ 一方で、中年層にはワンデザインフリートレースがベターかもしれない。(金子)
- ・ フネとヒトをつなぐ作業が困難になっている現状、Facebook など SNS を利用したクルー紹介システムを構築できないか。(浅野)
- ・ ヨット部卒業後 3-4 年目の若い社会人にキールボートに乗ってもらう機会を設けられないか。チームカラーとニーズをつなぐ人材が必要だろう。(山田)
- ・ 若手セーラの乗艇義務付けレースの開催などのキールボートイベントをできないか。またキーマンのマッチングが重要だろう。(久保田)

◆大学マッチ

- ・ 正式名称は「第2回 JYMA 選抜 大学対抗ヨットマッチレース in 日産マリーナ東海 2013」に決定。13チームの出場が決定。(田代)
- ・ スポンサー各位の大会への招待を準備中、また引き続きスポンサーを募集している。(田代)
- ・ マッチ練習会を油壺 YH, 和歌山マリーナシティ, 福岡小戸 YH, 日産マリーナ東海の各地で開催している。東海では学生が自主的に練習会を開催した。(田代)
- ・ 予算案を確認した。
- ・ 当委員会で大会中のサポートを行えないか。SNS を利用した結果速報などを検討する。(中澤)

◆外洋合同委員会の報告

- ・ 外洋合同委員会が2月2-3日に沖縄県宜野湾市で開催された。配布資料を確認した。
- ・ 沖縄東海レースにおける事故の最終的な報告書の展開や、各委員会、各団体の事業内容について説明があった。来年は函館開催を予定している。(児玉)
- ・ 当委員会について、他の委員会との連携を高めた方が良いという意見を頂いた。例えば、キールボートシリーズ開催における計測委員会、安全委員会、ルール委員会との調整などがある。今後、他の委員会に当委員会メンバーがオブザーバー参加することを検討する。(中澤)

◆その他報告事項

- ・ キールボートシリーズは、畠山さん中心に関係者と打ち合わせを行っているとのこと。
- ・ 他のスポーツにおける体罰問題に関連して、日体協や文部省から健全指導の指示があった。倫理小委員会をJSAF 常任委員会内に設置した。(児玉)
- ・ 常任委員会で、キールボート強化委員会の来年度の予算増額(10万円→20万円)が承認された。(児玉)
- ・ パシフィックキールボートチャレンジ2013は、オーストラリア3チーム、ニューカレドニア1チーム及び地元ニュージーランドチームでの開催が決定した。(中山)

◆閉会 21:00

◆次回委員会の開催日：2013年3月28日(木)PM7:00 ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議室